



活動へのきっかけづくりと、地域での「つながりの輪」が大きく広がることを願って、中区の地域活動の魅力をお届けします！

ラーレ創刊号として、今回は、**第二地区の「ふれあいサロン」**にお邪魔しました！

お天気に恵まれた5月23日、山下町町内会館は優しい笑顔でいっぱいになりました。米国で福祉を学ぶジョージ・メイソン大学の学生が交流で訪れ、地域の高齢者の皆さんと、ハンドベルを楽しんだり、合唱や折り紙制作(兜・紙飛行機・鶴)を行いました。



ふれあいサロン



第2地区では、1993年から一人暮らしの高齢者を対象に、見守りを兼ねた「ふれあいサロン」を開催。参加者は楽しいひとときを過ごしています。

開催曜日・時間・会場
毎週金曜日: 13時~15時

(2か月に一回食事会開催)
山下町町内会館にて

対象者
第二地区在住70歳以上独居高齢者、日中独居高齢者 等

利用料(参加費等)
100円/回
(食事会のときは300円/回)



利用方法・申込受付時間
ベイサイド新山下集会所まで事前に電話連絡ください。連絡後、当日に会場にお越しください。
(045-625-3055)

活動内容
DVD鑑賞・手話ソング・軽い体操・合唱など。
季節に応じてイベントを開催

主催
第二地区社会福祉協議会

中区連合町内会長連絡協議会・第二地区連合町内会・中区社会福祉協議会の松澤秀夫会長にお話しを伺いました。

ジョージメイソン大学の学生との交流は、今回で2回目です。このような外国の若者と日本の高齢者との世代間・多文化交流というのは、とても良い取組だと思っています。

「ふれあいサロン」での集まりは一人暮らし高齢者の見守りになるのと、こういった地域のつながりは特殊詐欺の防止にもなります。

より良い地域を築くため、みなさん「自治会町内会」へ加入しましょう！



参加者の皆さんが笑顔で主体的に活動されている姿がとても印象的でした。明るく楽しい会の雰囲気を見ているとこの会がますます発展する姿が目に見えるようです。この雰囲気が担い手さんを支え、取り組みが長続きする秘訣なのだと感じました。(M・T)